

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校での高校生活を強く希望しており、次のアからウのいずれかに該当する生徒

ア 調査書中の教科の評定が優れており、入学後も積極的に学習に取り組む意思を持っている。

イ 部活動・特別活動等に優れた実績又は能力・適性を持ち、入学後もそのことを高校生活に生かし、継続して活動する意思を持っている。

ウ 英語圏のみならず、グローバルな視野を持ち、将来、世界で活躍しようとする意思を持っている。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に受検者が選択 ア 作文による自己表現 時間50分・字数601字以上800字以内 イ 運動系実技による自己表現 次のうち1つを選択 野球（男子）・陸上競技（男女）・ソフトテニス（男女）・サッカー（男子）・ソフトボール（女子）・バレーボール（男女）・バスケットボール（男女）・剣道（男女）・卓球（男女）・弓道（男女）・テニス（男女）

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
個々の教科の得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席日数が、いずれかの学年に20日以上、または3カ年合計30日以上ある場合、審議の対象とする。 3カ年皆勤について参考資料とする。
ウ 行動の記録	参考資料とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述について参考資料とする。（生徒会本部役員、優秀選手、県大会・関東大会・全国大会、漢検・英検等）
オ 総合所見	参考資料とする。

(3) 自己表現

自己表現の各評価基準を基に、3名の評価者がそれぞれ50点ずつの評価をつけ、その合計値を150点満点で評価する。

ア 作文による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 内容	題に対応した、一貫性のある内容を書くことができたか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識がはっきりと述べられているか。
(ウ) 明確さ	適切な語句や表現を使い明確に表現しているか。
(エ) 具体性	自らの意思や考えを具体的に表現しているか。

イ 運動系実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 表現・態度	自己を的確に表現し、真摯な態度で臨んだか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識を明確に伝えたか。
(ウ) 能力・技能	専門的な運動能力と技能を身に付けているか。
(エ) 資質（将来性）	将来にわたる活躍が期待できるか。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「自己表現の成績」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

学力検査の得点、調査書の得点、自己表現の得点の総合計により順位をつけ、上位者から入学許可候補者に内定する。ただし、下記の点に問題がある場合は審議の対象とする。

- ① 学力検査の個々の教科の得点
- ② 調査書の「教科の学習の記録」
- ③ 調査書の「出欠の記録」
- ④ 自己表現の評価

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度卒業者については、個人面接を行う。

平成28年度 海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に受検者が選択 ア 作文による自己表現 時間50分・字数601字以上800字以内 イ 運動系実技による自己表現 次のうち1つを選択 野球（男子）・陸上競技（男女）・ソフトテニス（男女）・サッカー（男子）・ソフトボール（女子）・バレーボール（男女）・バスケットボール（男女）・剣道（男女）・卓球（男女）・弓道（男女）・テニス（男女）
(4) 海外在住状況説明書	実施要項（様式7）により、海外在住期間及びその前後の教育歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
個々の教科の得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席日数が、いずれかの学年に20日以上、または3カ年合計30日以上ある場合、審議の対象とする。 3カ年皆勤について参考資料とする。
ウ 行動の記録	参考資料とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述について参考資料とする。（生徒会本部役員、優秀選手、県大会・関東大会・全国大会、漢検・英検等）
オ 総合所見	参考資料とする。

(3) 自己表現

自己表現の各評価基準を基に、3名の評価者がそれぞれ50点ずつの評価をつけ、その合計値を150点満点で評価する。

ア 作文による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 内容	題に対応した、一貫性のある内容を書くことができたか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識がはっきりと述べられているか。
(ウ) 明確さ	適切な語句や表現を使い明確に表現しているか。
(エ) 具体性	自らの意思や考えを具体的に表現しているか。

イ 運動系実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 表現・態度	自己を的確に表現し、真摯な態度で臨んだか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識を明確に伝えたか。
(ウ) 能力・技能	専門的な運動能力と技能を身に付けているか。
(エ) 資質(将来性)	将来にわたる活躍が期待できるか。

(4) 海外在住状況説明書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書」、「自己表現の成績」、「海外在住状況説明書」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。学力検査の得点、調査書の得点、自己表現の得点の総合計により順位をつけ、さらに、下記の点等をふまえ、慎重に審議する。

- ① 学力検査の個々の教科の得点
- ② 調査書の「教科の学習の記録」
- ③ 調査書の「出欠の記録」
- ④ 自己表現の評価

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

4 その他

過年度卒業者については、個人面接を行う。

平成28年度 外国人の特別入学者選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 作文検査	日本語による作文
(3) 面接検査	日本語による面接
(4) 外国人特別措置適用申請書	実施要項（様式8）により，入国年月日及びその前後の教育歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合，審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席日数が，いずれかの学年に20日以上，または3カ年合計30日以上ある場合，審議の対象とする。 3カ年皆勤について参考資料とする。
ウ 行動の記録	参考資料とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述について参考資料とする。（生徒会本部役員，優秀選手，県大会・関東大会・全国大会，漢検・英検等）
オ 総合所見	参考資料とする。

(2) 作文検査

評価項目	評価基準
(ア) 内容	題に対応した，一貫性のある内容を書くことができたか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識がはっきりと述べられているか。
(ウ) 明確さ	適切な語句や表現を使用的確な日本語で表現しているか。
(エ) 具体性	自らの意思や考えを具体的に表現しているか。

(3) 面接検査

評価項目	評価基準
ア 人物・態度・表現力	本校の教育方針にふさわしい身だしなみや，応答の内容・態度，日本語での表現力などを評価する。
イ 意欲・目的意識	本校の教育方針を理解しているか，また，入学後の活動に対する意欲が旺盛かどうかを評価する。

(4) 外国人特別措置適用申請書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書」，「作文検査」，「面接検査」，「外国人特別措置適用申請書」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には，選抜のための資料に加え，提出されたことにより，不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

平成28年度 後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接検査	面接官2名による4～5名のグループ面接

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
個々の教科の得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席日数が、いずれかの学年に20日以上、または3カ年合計30日以上ある場合、審議の対象とする。 3カ年皆勤について参考資料とする。
ウ 行動の記録	参考資料とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述について参考資料とする。（生徒会本部役員、優秀選手、県大会・関東大会・全国大会、漢検・英検等）
オ 総合所見	参考資料とする。

(3) 面接検査

A～Dの4段階で評価する。C、Dは審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 人物・態度・表現力	本校の教育方針にふさわしい身だしなみや、応答の内容・態度、表現力などを評価する。
イ 意欲・目的意識	本校の教育方針を理解しているか、また、入学後の活動に対する意欲が旺盛かどうかを評価する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

4 その他

過年度卒業者については、個人面談を行う。